

子育て支援コース(すくすく・のびのびコース)では・・・

乳幼児期は「生き生きと、豊かに、自分らしく生きていく力」の土台を育んでいく時期です。その土台を育むためには安心できる環境で、大好きな人たちに囲まれて、たくさん遊び、たくさん触れ合うことが大切です。

その中で自分を大切に思う気持ち、他の人も大切に思う気持ち、人とつながる心地よさが芽生え、社会への一歩を踏み出していきます。

そこで「なないろ教室・子育て支援コース」では乳幼児期の「のびのび、すくすく、わいわい」を応援するためにたくさん遊んで満足する経験、人とつながって楽しい経験を重ねていく場と時間を共有したいと願っています。

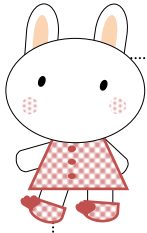
補聴器や人工内耳、聴こえ方などについて向き合って間もないお子さんと親御さんが安心して教室に通い、遊び方やかかわり方を一つずつ知って行くことが出来るようなレッスンを提供したいと考えています。

毎日の生活や子育ての中の「困ったな」「どうしたらいいかな」・・・などについてもスムーズに行くヒントやきっかけを一緒に考えていきたいと思っています。遊びやかかわりの中での言葉かけなどについてもお伝えしていきますので少しずつ生活の中に取り入れて行ってみてください。

何かありましたらいつでもお声掛けてください。

よろしくお願ひします。





レッスンでは、こんなことをします

～一緒に遊ぼう・一緒にやろう～

ままごと、電車、ボール、トランポリン

歌、手遊び

絵本、紙芝居、お話

お遊戯、音遊び、運動遊び

クレヨン、絵具、製作遊び

お弁当

お子さん、親御さん、先生・・・みんなと一緒に遊びましょう。

楽しく人と遊ぶ経験から自分から「やってみよう」という気持ちや「できた」という喜びを引き出します。そして日々の生活の積み重ねや繰り返しの中からできることやわかることを少しずつ増やしていきます。

それから楽しく人と遊ぶこと、関わることを通して、人や社会と豊かに関わる力、「コミュニケーションの力」を少しずつ育みます。「何をしてるのかな」と興味を持ち、「楽しそうだな」と感性を豊かにし、「やってみたいな」と意欲を抱く・・・そんな気持ちを持てるようになることがその第一歩になります。

お子さんと親御さんが一緒に、安心して遊びに参加してください。「抱っこ」も「おんぶ」も「手をつないで」もどれもりっぱな遊びへの参加です。

実際にやってみなかつたとしても「見ること」「お友達の様子に関心を持つこと」からもう遊んでいるのと同じです。場面に安心して、遊び方がわかってくると自然と遊ぶようになるので大丈夫です。「一緒にしようね」「ママと見ようね」「今度やろうね」「一緒に見ててえらかったね」「見てて楽しかったね」とお子さんの姿をゆったりと受け留め、認めて声を掛けて行きましょう。

～遊びの中でことばをかけてみましょう～

身振りをつけて楽しいやりとりにもなります



「おーい」

「おいで」

「ちょうだい」「かして」



「どうぞ」「いいよ」

「どうも」



「ありがとう」

～生活の中でことばをかけてみましょう～

楽しいしつけにもつながります

「まってね」

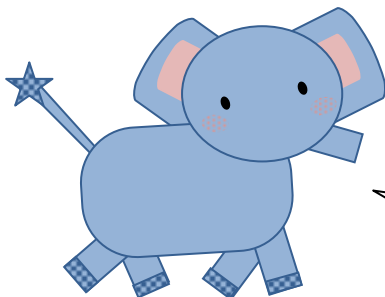


「みてね」



「だいじだいじ」

「おいといて」



具体的な遊び方やことばをかける
タイミングなどはレッスンの中で
お伝えします。

お子さんと一緒に遊びながら自然
なことばかけを実感して下さい。